

平成28年10月25日 全校集会 学校長から全校生徒に向けて

先週金曜、10月21日の午後2時7分に震度6弱の大きな地震が起きました。突然のことですから、皆さんは、本当に驚いたと思いますし、混乱した人も多かったと思います。私は2年生の韓国研修旅行引率中でしたが、学校に残っていた生徒全員が、先生方の指示のもと、冷静かつ迅速にグラウンドに避難し、帰宅までの数時間、お互いに励まし合って、乗り切ったと、教頭先生から報告を受けました。全員無事で本当にうれしく思います。

また、韓国研修の2年生は、家族や友人の安否を心配する中、地震直後の不透明な道路事情により、深夜の帰宅となりました。こうした状況ですから、ゆっくり疲れをとることができなかつたかもしれませんが、無事帰宅できたことを喜ぶたいと思います。

地震による被害状況は場所によって様々なようです。自宅が大きな被害を受け、避難所など自宅外での生活を余儀なくされている人もいと聞いています。この週末は、自宅の片づけに追われた人も多かったことでしょう。その一方で、ボランティアとして復旧作業に協力をした人たちもいと聞いています。

今日ここにこうして皆さんと再会でき、安どしていると同時に、皆さんがそれぞれの立場で、力強く生活し、行動していることを私は誇らしく思います。

今日から学校を再開しますが、今回の出来事で心の整理がついていない人もいことでしょう。学校生活を送る中で、いろいろなことを思い出して、体調や気分に変化があることも当然起きうと思っています。そのような場合は、遠慮なく先生方に申し出てください。3年生は、進路にかかわり重要な時期で様々な思いがあると思いますが、そうした思いも遠慮せず、申し出てください。

余震が続いていますが、建物の安全点検は実施済みです。地震に関しては学校はどこよりも安全だと私は思っています。しかし、何事にも絶対はありません。何か起きた場合には、今回のように冷静にそして迅速に行動してください。

こうした状況ですから、学校生活にもある程度の制限が出てきます。先に話した通り、皆さんの状況も様々です。お互いがお互いを思いやり、力を合わせてこの状況を乗り越え、充実した学校生活を送ってください。